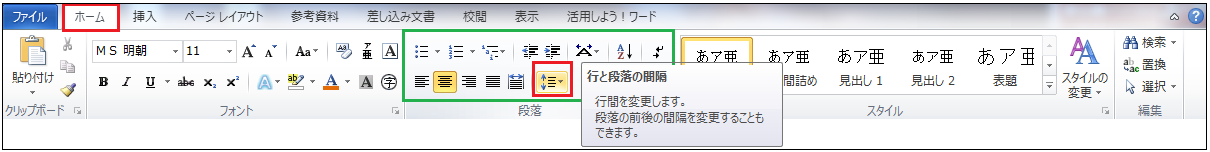
**「行間を調整」する**

Copyright(c) Beginners Site All right reserved 2011/01/01

文書の行間は、初期の状態では文字の大きさに左右されます。

文字を大きくすると「行間」が広くなります。調整したいですね。

**段落・文字列を選択後**、「**ホーム**」タブにあるリボンより「**段落**」から「**行間**」ボタンをクリックします。

****

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 例えば、以下の文章であれば「**１２ｐｔ**」の文字サイズで入力されています。この段落の行間（10.5pt）より広くなっています。  **《例》**  歌舞伎は近世初期に発生、発達したわが国固有の演劇。慶長八年頃、出雲大社の巫（みこ）阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めといわれ、風俗を乱すとして禁止になった。  この行間を、少し狭く調整します。  **《方法》**  まず、設定する文字列を選択します。   1. 「**ホーム**」タブにあるリボンより「**段落**」から「**行間と段落の間隔**」ボタンをクリックします。  |  |  | | --- | --- | |  | あるいは      「段落」メニューの**○印**部分をクリックします。 |   「**行間のオプション**」をクリックで選択しましょう。  　※もしくは、以下のメニューの○印部分をクリックします。 | 1. 以下の「段落」設定画面が表示されます。 「**インデントと行間隔**」を選択し、「**間隔**」より   「行間」：**固定値**  「間隔」：**１４ｐｔ**に設定します（任意に設定）    **《例》以下のようになります**  歌舞伎は近世初期に発生、発達したわが国固有の演劇。慶長八年頃、出雲大社の巫（みこ）阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めといわれ、風俗を乱すとして禁止になった。  【参考】   * 文字のサイズにより「間隔」の設定は異なります。   文字サイズが１４ｐｔだと１８ｐｔ～２２ｐｔ位。 |

**左の例題にあるように、右欄で練習しましょう。**

**《例　　題》**

**「行間」を狭くしてみましょう。**

近世初期に発生、発達したわが国固有の演劇。慶長八年頃出雲大社の巫（みこ）阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めといわれ、風俗を乱すとして禁止になった。

**《練　　習》**

近世初期に発生、発達したわが国固有の演劇。慶長八年頃出雲大社の巫（みこ）阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めといわれ、風俗を乱すとして禁止になった。